

頑張る地方応援プログラム 2次分(上勝町)

プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要 及び 具体的な成果目標	プロジェクト期間	具体の事業・施策(名称)	事業概要	事業費 (計画全体) (単位:千円)	事業費 (平成19年度) (単位:千円)	政策分野 の分類
ゼロ・ウェイスト(ごみゼロ)推進プロジェクト	<p>(目的、概要) 本町は、平成15年9月議会において、ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)宣言をし、2020年(平成32年)までにごみの焼却・埋め立てを限りなくゼロに近づけ、エネルギー需要を最小限に、資源を最大限に利用し、大気汚染、地球温暖化防止、幸せな人を多くし、未来の子どもたちに、きれいな空気・美味しい水・美しい大地を継承することを宣言した。現在、ごみの34分別により、ごみの再利用・再資源化に取り組んでいる。ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)宣言を実現するためには、「資源回収法(仮称)」の制定が必要で、制定に向けて検討委員会を設け具体的に検討する。</p> <p>(具体的な成果目標) ごみの34分別により、再利用・再資源化に努め、リサイクル率の向上を図る。2020年(平成32年)までに焼却・埋め立てによるごみの処理をゼロに近づける。</p> <p>リサイクル率 H18 68% H28 80% H20 70% H32 99% H23 75%</p>	平成19年度 ~平成32年度	ゼロ・ウェイスト推進方針検討委員会	専門委員会の設置、法律、ゴミのボランティア、流通企業、生産企業、行政の代表、ゴミ行政、ゼロ・ウェイストの研究者等で検討委員会を設け、平成19年度に資源回収法(仮称)の原案を含むゼロ・ウェイスト推進方針案ならびに推進計画を作成し国への政策提言を行う。	575	575	
			ゼロ・ウェイスト推進事業	ごみの34分別により、再利用・再資源化に努め、リサイクル率の向上を図る。また、平成19年度に作成されたゼロ・ウェイスト推進方針ならびに推進計画を基に、実現に向けた取り組みを推進し、進捗状況の把握と公表、推進計画の見直しを順次行う。	130,000	0	
			計		130,575	575	
鳥獣害防護柵開発プロジェクト	<p>(目的、概要) 上勝町の農業は、今や鳥獣害の対策無くして農産物の生産は難しく、毎年多くの被害と有害鳥獣の捕獲、防護柵の設置管理に多くの労力と経費をかけているが、今後森林農地の荒廃によりますます被害が増えることが予想されると共に、何十年も鳥獣害が続くことが予想される。現在、確実に農産物を保護する方法はなく、現況で最も有効な手段は電気柵といわれているが、この柵の欠点は、草が伸びると電気柵に接触し効果が無くなることから、常時電気柵がアースしないよう草の刈り取りを行わなければならないため管理に手間がかかる事である。そこで電気柵や鳥獣の専門家、鉄鋼メーカー、木材業、林業、農業等を業とする専門家まで今日のノウハウと異業種メーカーの能力を結集し、管理費が殆どかからずほぼ確実に鹿、猿、猪の被害を防止できる有害鳥獣防護柵を開発する。</p> <p>(具体的な成果目標) 鳥獣捕獲頭数 H18 204頭 H21 245頭</p>	平成19年度 ~平成21年度	鳥獣被害対策協議会(仮称)の設置	鳥獣被害防止対策基本方針の策定・被害実態の把握・被害拡大の要因分析・被害防止に関する調査・研究(食肉利用)・農業者等狩猟免許取得促進	500	500	
			実証実験	モデル集落の選定・防護柵制作実証・市町村における被害防止活動・集落外の住民や組織との連携	1,500	0	
			計		2,000	500	
遊休農地活用プロジェクト	<p>(目的、概要) 上勝町では、依然高齢化が進行しており、その上、農産物等が少しの傷などから商品には成らず、出荷されないものが多く、農家の収入には成らず逆に労働とコストがかかるという状況であり農地の遊休化が危惧される。そこで、遊休農地化を防止するためにも、農家が手軽に生産できる産物の研究と実証実験を実施するとともに、既存の産物の未出荷商品の加工による有効利用を図り、農産物のムダの軽減と農家収入の底上げを目的とする。</p> <p>(具体的な成果目標) 遊休農地は、2000年(平成12年)20ha、2005年(平成17年)28haと5年間で8ha増加しており、このままいくと2010年(平成22年)には36haになると予想される。このため、新規作物等の導入により遊休農地の増大に歯止めをかける。</p> <p>遊休農地 H17 28ha H23 30ha 新規作物等の売上 H18 0万円 H23 100万円</p>	平成19年度 ~平成23年度	軽労働産物実証実験事業	1. 軽労働作物等先進地調査 2. 作物などの選抜・決定 3. 作付け実証実験 4. 栽培歴などの製作 5. 遊休農地の調査	5,000	500	
			農産物等加工開発研究事業	1. 加工技術等の先進地調査 2. 加工用農産物の選抜・決定 3. 加工にかかる技術講師による講習会 4. 加工品試食会 5. 加工品レシピの作成及び商品化へのテスト販売	7,000	700	
			計		12,000	1,200	

政策分野の分類 地域経営改革プロジェクト 地場産品発掘・ブランド化プロジェクト 少子化対策プロジェクト 企業立地促進プロジェクト 定住促進プロジェクト 観光振興・交流プロジェクト まちなか再生プロジェクト 若者自立支援プロジェクト 安心・安全なまちづくりプロジェクト 環境保全プロジェクト その他